

医療従事者の「フェースシールド」代用品

「作り方、参考にして」

中村さんが考案

在住の生
3年
高校
廣陵

清風高校（大阪市）の3年生、中村智行さん（17）

が100円ショップなどで販売されている材料だけを使い、医療従事者が顔などを覆うフェースシールドの代用品を作る方法を考案した。

身近な商品を材料に

らしい。
義行さんが実際に診察に使い、「何の問題もなかった。クリアファイルを使う方法が紹介されていることもあるが、それよりも透明度が高く、見やすい」と高

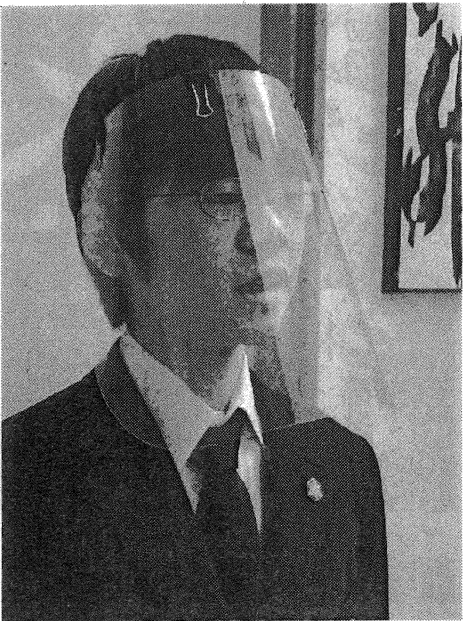
父・義行さん（54）が大和高田市で医院を開業しており、医療用の防護具が不足していることを聞き「何か役に立てれば」と考えたという。義行さんによると、医療用の防護具は全般に注文しても入っていない状態が続いているという。
百円ショップでも手に入

るB4サイズの透明プラ板を横向きにし、底辺部分の角をはさみなどで丸く切った後、事務用のクリップで女性が頭につけるカチューシャに上側を3〜4カ所、挟んで取り付けるだけで完成する。カチューシャも100円ショップなどにプラスチック製のものがあり、幅の広いものを使いやすい

く評価する。

接合部をクリップで止めているため、「分解して拭いたり消毒するのも簡単。材料だけを手元に置いておけば、場所も取らず、すぐに組み立てることができると思われ利点もあった。

智行さんは「父がホームセンターなどで代用になるものを探していた。ほかにも困っている医療関係者がいると思うので、作り方を参考にしてほしい」と話している。



自宅で自作したフェースシールドを着用する智行さん
11月23日